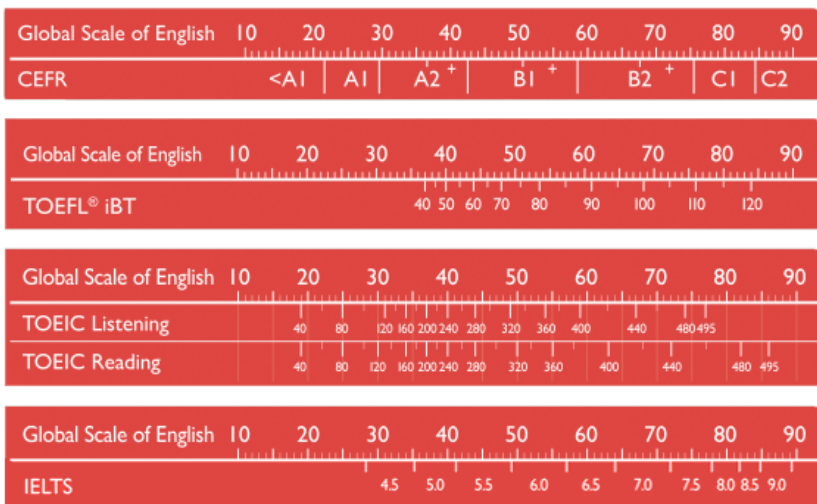


なぜ、プログレステストを受けるの？

英語習得院で行うプログレステストは、各自の英語学習に関するフィードバックとなります。プログレステストは純粋に英語力を測るテストで、自分の英語力の中で強い分野と弱い分野を把握するために使えます。プログレステストでは、総合スコアだけでなく、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能に加え、文法力と語彙力それぞれに関するスコアも計測されます。

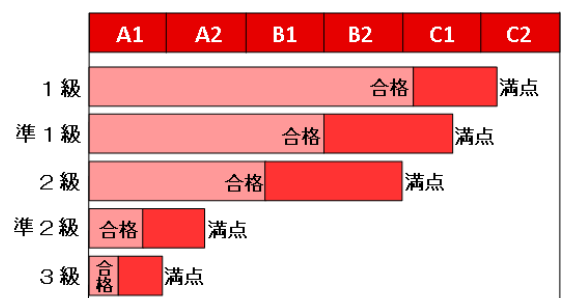
プログレステストのスコアは、Global Scale of English (GSE)に準拠しています。ELI講座受講開始直後のGSEスコアを受講1年後、2年後のものと比較することによって、自分の英語力の伸びを確認することができます。また、英検やTOEICなどの英語検定試験やCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）との比較参照もできます。

Global Scale of EnglishとCEFRや各種試験との比較



出典元: Pearson English / Pearson PLC

CEFRと実用英語技能検定の比較



日本生涯学習総合研究所／日本英語検定協会による「CSE2.0」より引用

CEFRって何？

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : ヨーロッパ言語共通参照枠) とは、語学のコミュニケーション能力をレベル別に示す国際基準規格で、欧米で幅広く導入されています。日本でも、文部科学省が行った英語力調査結果などでCEFRの共通参照レベルが使われています。英語習得院のELI講座はCEFRの共通参照レベルを基にクラス分けします。

CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の共通参照レベル

C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について、明確でしっかりとした構成の詳細な文章を作ることができる。
B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介ことができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくりはっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。